

もも・ネクタリン特報

H27. 4.10 No.1

J A 中野市営農センター

J A 中野市りんご・もも部会

開花予想は今後の天候や園地・品種により変化しますが、平岡地区の白鳳で4月20日前後と予想されます。生育状況をよく確認し適期防除と管理作業をすすめましょう。また、昨年せん孔細菌病が発生した園地では、越冬菌が多く本年も発生が心配されますので、予防散布と春型枝病斑の除去を徹底しましょう。

【生育状況】 白鳳 平岡調査地点

発芽 3/31 (昨年4/2、平年4/2) *日野地区 発芽 3/29

【過去の開化状況】 白鳳 平岡調査地点(平年4/22)

年度	平年	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
開花	4/22	4/17	4/20	4/13	4/23	4/28	4/26	4/18	4/23	?

*凍霜害対策に万全を期すとともに、結実確保のため花粉のない品種(川中島白桃等)においては、人工受粉を必ず実施しましょう。

【もも・ネクタリン共通 開花前 特別散布】せん孔細菌病対策

せん孔細菌病多発園は、開花5～6日前を目安にキンセット水和剤80の1,000倍を特別散布する。

*展着剤は、固着性展着剤のKKステッカー3,000倍またはアビオンE1,000倍を使用する。

*KKステッカーを使用する場合は、調合液を攪拌させながら最後に加用する。

1. 開花始めの散布 (せん孔細菌病予防散布)

◎薬液が枝にしっかりかかるよう、丁寧に散布しましょう。

*収穫中の作物等へ飛散しないよう、十分注意してください

*隣接地がアスパラガスの場合は、事前に園主へ連絡してください

*展葉後の散布は薬害発生の恐れがあるので、散布時期を厳守してください



もも

散布時期：開花始め(1～2輪咲き)

散布薬剤	水		100%
	4-12式ボルドー液	生石灰	1200g
		硫酸銅	400g
	展着剤		10ml

対象病害虫：せん孔細菌病

10a 当り散布量：350%

散布日	月	日
散布量		%

【注意事項】

- ①せん孔細菌病の発生園は、展着剤にKKステッカー3,000倍(固着性展着剤)を使用する。尚、KKステッカーは調合液を攪拌させながら、最後に加用する。
- ②KKステッカーに代えて、アビオンEの1,000倍でもよい。
- ③4-12式ボルドー液に代えて、icボルドー412の30倍(水100%に3.3kg)を使用してもよい。

ネクタリン

散布時期：開花始め(1～2輪咲き)

散布薬剤	水		100%
	icボルドー412		3.3kg

対象病害虫：せん孔細菌病

10a 当り散布量：350%

散布日	月	日
散布量		%

【注意事項】

- ①せん孔細菌病の発生園は、展着剤にKKステッカー3,000倍(固着性展着剤)を使用する。尚、KKステッカーは調合液を攪拌させながら、最後に加用する。
- ②KKステッカーに代えて、アビオンEの1,000倍でもよい。

裏面もご覧ください

2. せん孔細菌病対策

薬剤による防除だけでなく、春型枝病斑切除・防風対策を中心とした耕種的防除を実施しましょう。

- (1) 春型枝病斑（開花期より出現）の切除と園外への搬出（この病斑から繁殖した細菌が雨滴に混じり、葉・果実へ感染させる）
- (2) 風当たりの強い園で発病しやすいので防風ネットを設置する。
- (3) 排水性の悪い園や弱・強樹勢樹に多発するので、排水対策などの園内環境整備や樹勢適正化につとめる。

3. 今後の栽培管理

最重点作業は摘蕾の実施です。大玉良品生産の第一歩は摘蕾の実施から！！

- (1) 摘蕾・摘花：摘蕾作業は、蕾の先端がピンク色になるまでふくらんだ頃が最も作業効率が良いです。
遅れた場合は落花期までに花摘みを行ないましょう。
- (2) 人工受粉：花粉が少ない品種や全くない品種では、必ず人工受粉を行なってください。あらかじめ開葯し採取した花粉で受粉することが最良ですが、受粉樹（花粉の多い品種）で開花している花の花粉を毛バタキ・綿棒につけて受粉（交互交配）するのも効果がありますので実施してください。

もも貯蔵花粉の受付

もも・ネクタリンは天候状態により開花・満開が極端に進み、当用花粉では間に合わない場合や凍害に遭遇した時に花粉のある品種でも人工受粉が必要となる可能性がありますので、ぜひ桃花粉の貯蔵をおすすめします。

- 共同開葯所では、次年度に使用するための貯蔵花粉の受付を行います。
- 花の持ち込みの際に貯蔵花粉と明記し、各支部の指示に従い搬入してください。
- 採取する花は、白鳳・あかつき・なつっこ・山根白桃・白根白桃など花粉の多い品種とする。

摘蕾の実施・・・大玉生産のための摘蕾を！！

◎着果管理の流れ

- (1) 花粉のある品種の場合：摘蕾・摘花 ⇒ 荒摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
- (2) 花粉のない品種の場合：荒摘果 ⇒ 仕上げ摘果 ⇒ 被袋時の見直し
(花粉のない品種でも場所により結実が良好な場合は(1)に準ずる)

*花粉のある品種は早く摘果をすすめ良い幼果をつくとともに樹勢を保つ。

花粉のない品種は結実を確認し変形のない肥大の良い果実を残す。

*白鳳系・あかつき・赤宝・山根白桃・なつっこ・白根白桃などは摘蕾する。川中島白桃などは、受粉樹など着果条件から摘蕾を軽くするか、しないか決定する。

*ファンタジア・秀峰などのネクタリンは、花芽が少なく果実が不揃いとなりがちなので摘蕾は控える。

◎摘蕾の方法

- (1) 主枝・亜主枝・側枝など伸ばす枝の延長枝はすべて摘蕾し、垂れないよう強く保つ。
- (2) 上向きの蕾を除く。横向きは残す。
- (3) さらに長果枝(30～50cm)の根元の3分の1、中果枝(15～30cm)の先端部以外は除く。短果枝は4～5短枝当り1芽残す。
- (4) 遅れると葉芽を欠くことになるので、葉芽が伸び出す前に実施する。

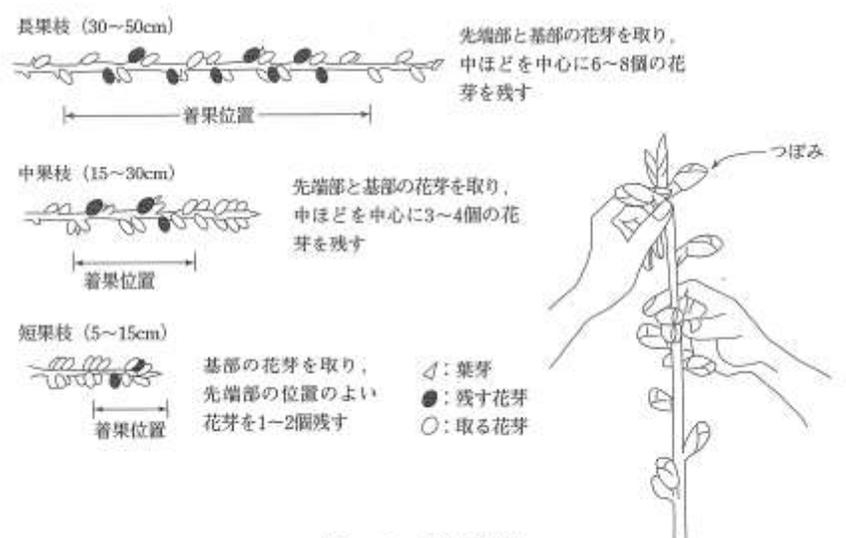


図1-10 摘蕾の方法